

# スタジオライト キルンワーク制法シリーズ

スタジオライトでは、代表的なキルンワークのテクスチャーを制法別にシリーズ化しております。各シリーズは諸条件により、さらに様々な表現が可能です。キルンワークとは、型にカレット原料を敷きつめて窯の中で焼き上げるで、主に板状のものを制作する際に採用されます。最大3000×1000mmまで焼成できる窯を所有し制作を行っています。

表記▶FL…廃蛍光灯リサイクルガラス CRT…ブラウン管(パネル)リサイクルガラス NX…低圧ナトリウム灯リサイクルガラス

**プレーン** 自然光がきれいに集まる和紙のような柔らかな表情



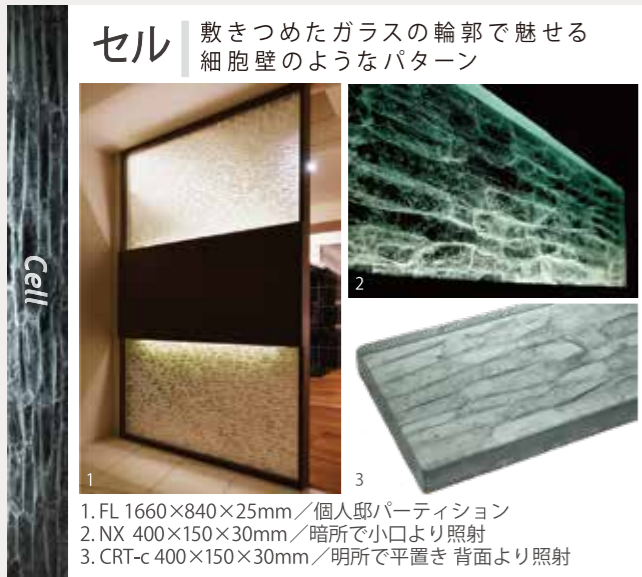
1. FL 450×450×50mm / ボトム面を上にしたスツール天板  
2. NX 60mm厚 / NXガラスは焼成するとブルーに発色する  
3. CRT-c 70mm厚 / 光沢面からは中の気泡がたくさん見える

**ビルド** 敷きつめたガラスの輪郭で魅せる石造りのようなパターン



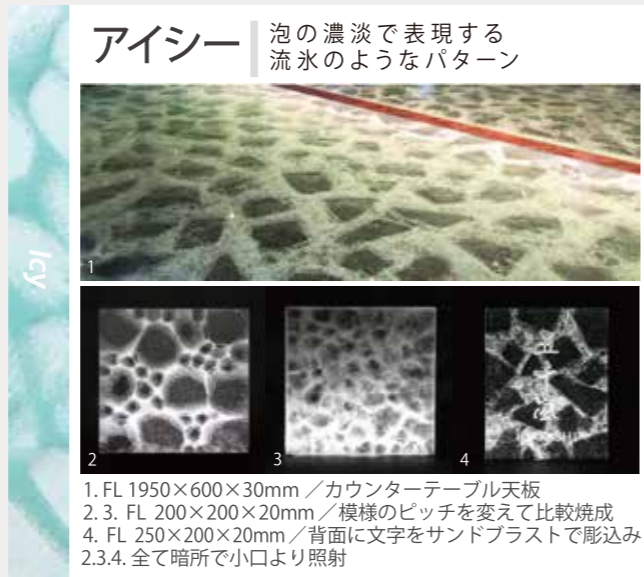
1. FL / ベンチ装飾ガラス部材  
2. 1のガラス部ディテール  
3. CRT-c+t 2250×950mm / テーブル天板 明所平置きにて撮影  
4. FL 360mm×82mm厚 / ランドスケープオブジェ部材

**セル** 敷きつめたガラスの輪郭で魅せる細胞壁のようなパターン



1. FL 1660×840×25mm / 個人邸パーティション  
2. NX 400×150×30mm / 暗所で小口より照射  
3. CRT-c 400×150×30mm / 明所で平置き 背面より照射

**アイシー** 泡の濃淡で表現する流水のようなパターン



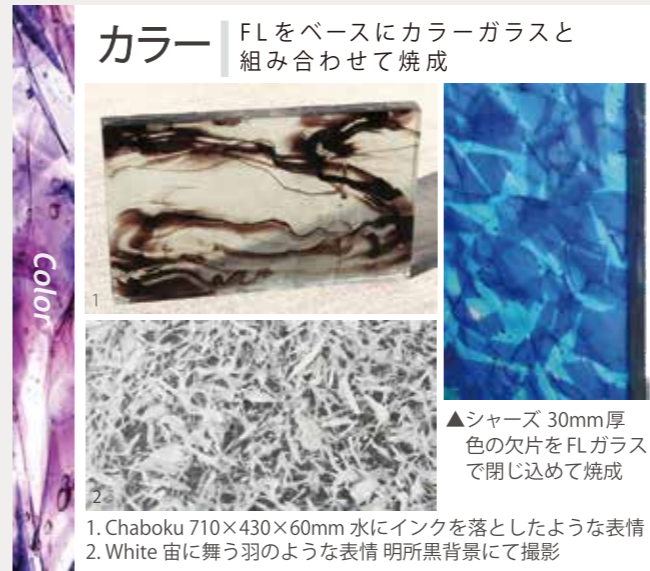
1. FL 1950×600×30mm / カウンターテーブル天板  
2. 3. FL 200×200×20mm / 模様をピッチを変えて比較焼成  
4. FL 250×200×20mm / 背面に文字をサンドブラストで彫込み  
2.3.4. 全て暗所で小口より照射

**バンピー** 半解けのデコボコを残した焼成 細かな温度管理により様々な魅せ方が可能



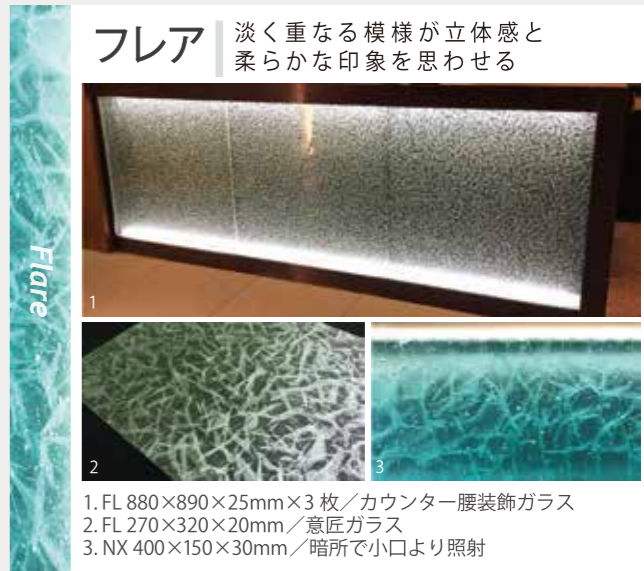
1. CRT-th 1380×880mm / バーカウンター腰装飾ガラス  
2. NX-h 1300×750mm / 壁面装飾  
3. FL-s 1380×880mm / テーブル天板  
4. 左から FL-h, NX-h, CRT-cs, CRT-ts 150×100mm / 色、溶け具合の比較

**カラー** FLをベースにカラーガラスと組み合わせて焼成



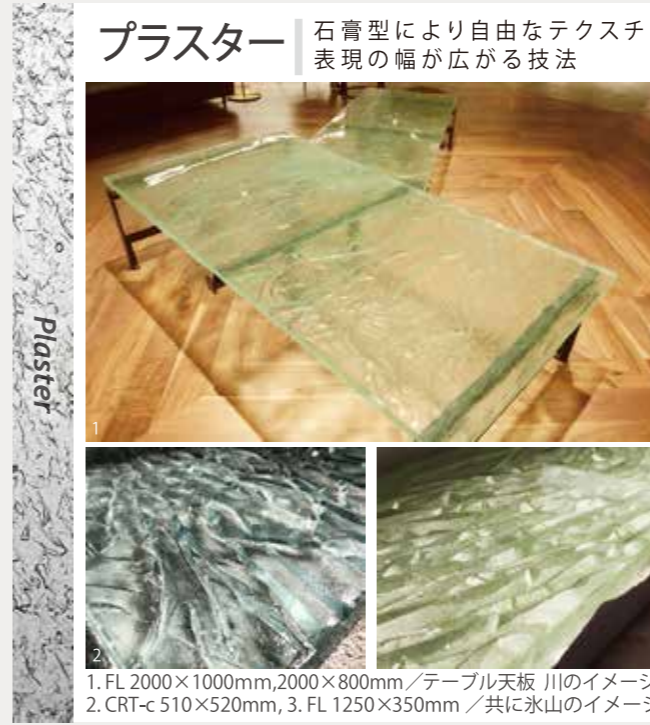
1. Chaboku 710×430×60mm 水にインクを落としたような表情  
2. White 宙に舞う羽のような表情 明所黒背景にて撮影

**フレア** 淡く重なる模様が立体感と柔らかな印象を思わせる



1. FL 880×890×25mm×3枚 / カウンター腰装飾ガラス  
2. FL 270×320×20mm / 意匠ガラス  
3. NX 400×150×30mm / 暗所で小口より照射

**プラスター** 石膏型により自由なテクスチャーを制作できるため 表現の幅が広がる技法



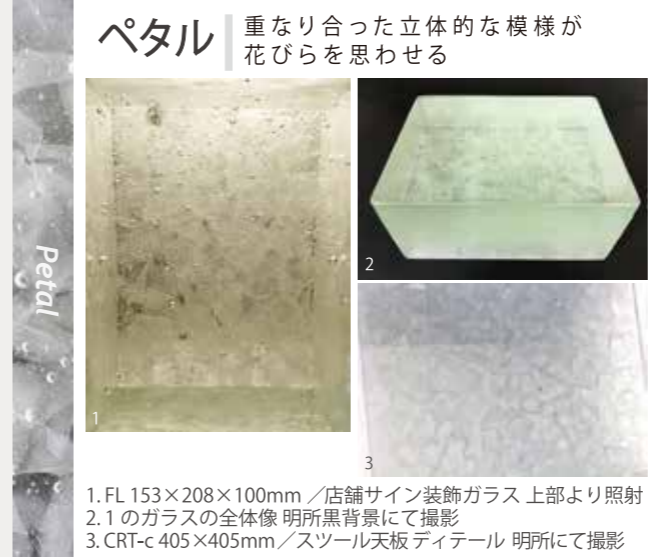
1. FL 2000×1000mm, 2000×800mm / テーブル天板 川のイメージ  
2. CRT-c 510×520mm, 3. FL 1250×350mm / 共に氷山のイメージ

**ドロップ** 煮詰めた餡のような艶やかな表情が特徴



1. NX 400×150×30mm / テクスチャー内部 泡のディテール  
2. FL 150×150×60mm / 明所にて立てて撮影  
3. CRT-c 400×150×30mm / 明所地面にて平置き撮影

**ペタル** 重なり合った立体的な模様が花びらを思わせる



1. FL 153×208×100mm / 店舗サイン装飾ガラス 上部より照射  
2. 1のガラスの全体像 明所黒背景にて撮影  
3. CRT-c 405×405mm / スツール天板ディテール 明所にて撮影

**ドロップ** 煮詰めた餡のような艶やかな表情が特徴



1. NX 400×150×30mm / テクスチャー内部 泡のディテール  
2. FL 150×150×60mm / 明所にて立てて撮影  
3. CRT-c 400×150×30mm / 明所地面にて平置き撮影